



UNWTO Regional Support Office for Asia and the Pacific
国連世界観光機関駐日事務所

2017年2月6日

国連世界観光機関（UNWTO）

世界観光指標（World Tourism Barometer）2017年1月号

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、UNWTO本部での準備完了次第、
下記リンクにて抄録（無償）及び全文（有償）をご覧いただけます。

<http://mkt.unwto.org/barometer>

PR No. 17003

マドリッド
2017年1月17日

国際観光はさまざまな困難にもかかわらず持続的に成長

2016年の国際観光客到着数はさまざまな困難にもかかわらず堅調を維持した。最新のUNWTO世界観光指標（World Tourism Barometer）によると、国際観光客到着数の増加は、3.9%増の12億3,500万人に達した。これは昨年の2015年と比較すると約4,600万人増の観光客（一泊以上）が国境を越え旅行をしたことになる。

2016年の世界観光客到着数は2009年の世界的な経済・金融危機以降、7年連続で成長を維持した。これは到着数が途切れることなく堅実に成長した1960年代以来のことである。この結果、世界経済危機以前の2008年から2016年に3億人多くの観光客が世界を旅したことになる。国際観光収入も同じくこの期間、順調に成長した（2016年の総合的な実績については2017年5月報告予定）。

UNWTO タレブ・リファイ事務局長は「近年観光は、とりわけ安全及び安心に関する課題が存在するなかで、顕著な強さと弾力性がある部門であることを証明している。国際旅行は力強い成長を維持し世界における雇用創出と地域社会の幸福に貢献する」と述べた。

World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific

Silkia Nara 2F, 8-1, Sanjo-honmachi, Nara 630-8122 Japan
TEL +81(742)30-3880 FAX +81(742)30-3883

地域別に見ると、2016年のアジア・太平洋（8%増）の国際観光客到着数は、地域間および域内の強い需要が同地域の成長を牽引した。アフリカ（8%増）は、2年間の低調の後に回復を見せ、米州（4%増）では増加を維持した。ヨーロッパ（2%増）は、一部のディスティネーションは2桁成長を示したが、他のディスティネーションの減少により相殺され、複雑な結果を示した。中東（4%減）も需要にばらつきがみられ、一部のディスティネーションでは増加を示したが、その他のディスティネーションでは減少をみせた。

UNWTO リファイ事務局長は、2017年は国連の持続可能な国際観光年であることに言及し、「私たちは、今、敬意と寛容が不足している時代に生きており、経済成長、社会的包摂、文化・環境保全、相互理解の促進にむけて観光の果たす役割が発揮できるよう、より緊密に連携する必要がある。」と述べた。

2017年の専門家委員の見解は前向き

最新の2017年の観光動向に関する調査について、UNWTO 専門家委員の約300人の過半数以上（63%）が2016年よりも「良い」または「はるかに良い」と回答し、引続き前向きであると予測した。よって2017年の観光は2016年同様の水準で成長すると見込んでいる。

現在の観光動向、UNWTOの専門家委員と経済見通しに基づき、UNWTOは2017年の国際観光客到着数は3~4%の成長率で推移すると予測している。ヨーロッパは2~3%増、アジア・太平洋およびアフリカは5~6%増、米州は4~5%増、中東は同地域の不安定性を考慮し2~5%増と見込んでいる。

2016年地域別実績

ヨーロッパの実績は、安全と安心の難題が多く、ディスティネーションに影響を与え予想以上に複雑な結果となった。2016年の国際観光客到着数は6億2,000万人となり、2015年より1,200万人増（2%増）となった。北ヨーロッパ（6%増）と中央ヨーロッパ（4%増）は共に堅実な結果を残し、一方で南・地中海ヨーロッパは1%増となり、西ヨーロッパは横ばいとなった。

2016年の国際観光客数アジア・太平洋（8%増）は、相対的および絶対的に成長を牽引し、2,400万人増の3億300万人となった。オセアニアは10%増の観光客を迎え入れ、南アジアは9%増、北東アジアと東南アジアはそれぞれ8%増となり、四つの準地域全てにおいて力強い伸びを示した。

過去 2 年間に記録された堅実な成長は、米州の国際観光客到着数（4%増）は 800 万人増となり、2 億 100 万人に達した。南米および中央アメリカ（ともに 6%増）での成長は幾分強く、カリブ海および北米では 4%増の到着が記録された。

アフリカの利用可能なデータによると、2016 年の国際観光客到着数は 2 年間低迷した後、8%増の 400 万人増となり、5,800 万人に届いた。サハラ以南地域（11%増）は成長を牽引し、北アフリカ（3%増）では徐々に回復基調に転じた。

中東は 2016 年に 5,400 万人の国際観光客到着数が訪れた。到着数は、推定 4%減少し、同地域内で複雑な結果が見られた。アフリカ及び中東の実績は、現在入手可能な限られたデータを元にしており、注意が必要である。

注：このプレスリリースは、世界のデスティネーションから報告された暫定データを元に紹介しており、未入手データに関しては UNWTO 推定値に基く。UNWTO は継続してデータを収集し、World Tourism Barometer4 月号に国別の包括的なデータを紹介する予定。

○UNWTO World Tourism Barometer (UNWTO 世界観光指標「バロメーター」) とは

UNWTO 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UNWTO 本部から、年 6 回を目処に公表されます。国連世界観光機関駐日事務所では、本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関 (UNWTO) について

UNWTO は、1975 年 1 月に観光に関する国際機関として設立され、2003 年に国連の専門機関に移行した観光に関する世界最大の国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

UNWTO 駐日事務所は、UNWTO 唯一の地域事務所として、1995 年に設立され、2012 年 12 月に奈良へ移転しました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

○お問い合わせ先(メディア専用窓口)
UNWTO 本部 コミュニケーションプログラム
E-mail: media1@unwto.org
※本部へ直接、英語でお問合せください。

○一般のお問合せ先
国連世界観光機関駐日事務所
(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)
担当：藤永、吉田
電話：0742-30-3880
E-mail: info@unwto-ap.org